

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成 29 年 7 月 6 日 (2017.7.6)

【公開番号】特開 2016-213920 (P2016-213920A)

【公開日】平成 28 年 12 月 15 日 (2016.12.15)

【年通号数】公開・登録公報 2016-068

【出願番号】特願 2015-92948 (P2015-92948)

【国際特許分類】

H 0 2 M 3/155 (2006.01)

H 0 2 J 1/00 (2006.01)

【F I】

H 0 2 M 3/155 P

H 0 2 M 3/155 W

H 0 2 M 3/155 Y

H 0 2 J 1/00 3 0 6 F

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 5 月 26 日 (2017.5.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 7】

前記電力変換器は、

前記第 1 の電力線と第 1 のノードとの間に電氣的に接続される第 1 の半導体素子と、

前記第 2 の電力線と前記第 1 のノードとの間に電氣的に接続される第 2 の半導体素子と

、

第 2 のノードと、前記第 2 の電力線との間に電氣的に接続される第 3 の半導体素子と、

前記第 1 の電力線と前記第 2 のノードとの間に電氣的に接続される第 4 の半導体素子と

、

前記第 1 のノードと前記第 2 のノードとの間に電氣的に接続される第 5 の半導体素子とを含み、

少なくとも前記第 2、第 4 および第 5 の半導体素子は、前記スイッチング素子を有し、

少なくとも前記第 1 および第 3 の半導体素子は、前記第 2 の電力線から前記第 1 の電力線へ向かう方向を順方向として配置されたダイオードを有し、

前記第 1 のリアクトルは、前記第 1 のノードと前記第 2 の電力線との間に、前記第 1 の直流電源と直列に電氣的に接続され、

前記第 2 のリアクトルは、前記第 2 のノードと前記第 1 の電力線の間に、前記第 2 の直流電源と直列に電氣的に接続され、

前記第 1 の電流経路の形成時には前記第 2 の半導体素子によって電流経路が形成され、

前記第 2 の電流経路の形成時には前記第 1 の半導体素子によって電流経路が形成され、

前記第 3 の電流経路の形成時には前記第 4 の半導体素子によって電流経路が形成され、

前記第 4 の電流経路の形成時には前記第 3 の半導体素子によって電流経路が形成され、

前記第 5 の半導体素子は、前記第 1 および第 4 の電流経路が同時に形成される期間、および、前記第 2 および第 3 の電流経路が同時に形成される期間において電流経路を形成する、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の電源システム。